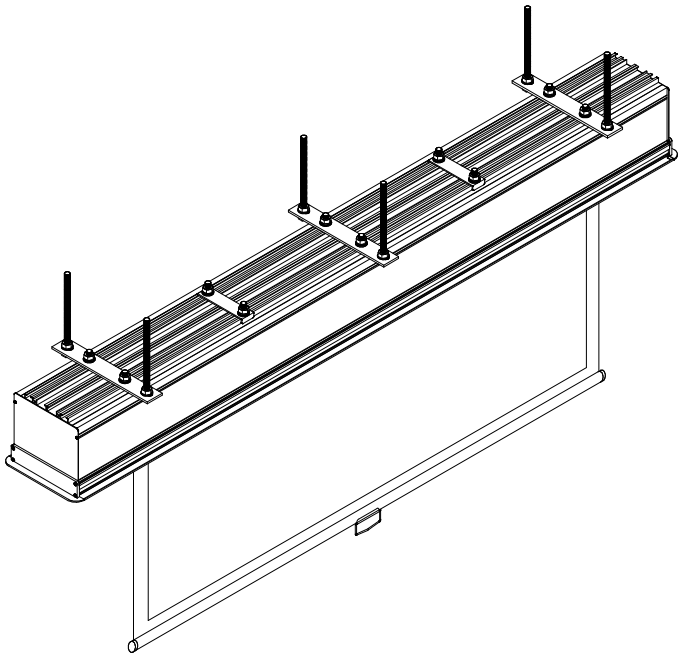
スプリング巻上式スクリーン(スクリーン150角BOXセット)
取扱説明書

ロータリーストップ&
スピードコントローラ付き



このたびは当社スクリーンをお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に,本機の機能を十分生かしてご利用いただくために,この「取扱説明書」を最後まで読み下さい。お読みになった後は,いつでも見られる所に大切に保存して下さい。万一,ご使用中にご不明な点や不具合が生じた時きっとお役にたちます。

ご使用の前に

絵表示について

この「取扱説明書」では,製品を安全に正しくお使いいただき,お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために,いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容ををよく理解してから本文をお読み下さい。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると,人が死亡やけがをするなど人身事故の原因となります。
⚠ 注意	この表示を無視して,誤った取り扱いをすると,人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

⚠記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号はしてはいけないことを表しています。
図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

❗記号はしなければならないことを表しています。
図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

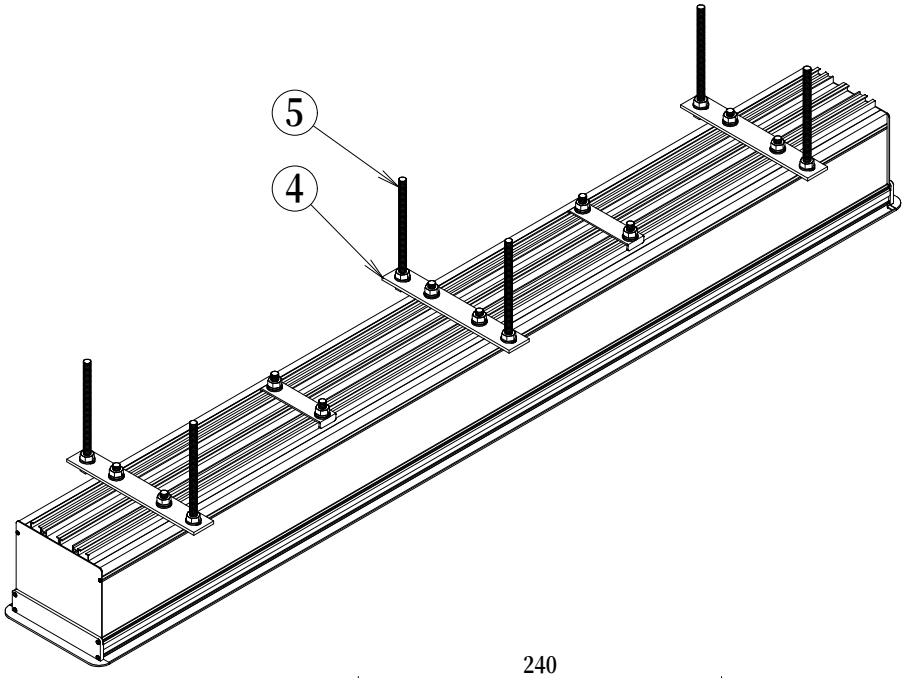
⚠ 警告	⃠	・ストーブなど火器近くでは使用しないで下さい。 火災の原因になります。

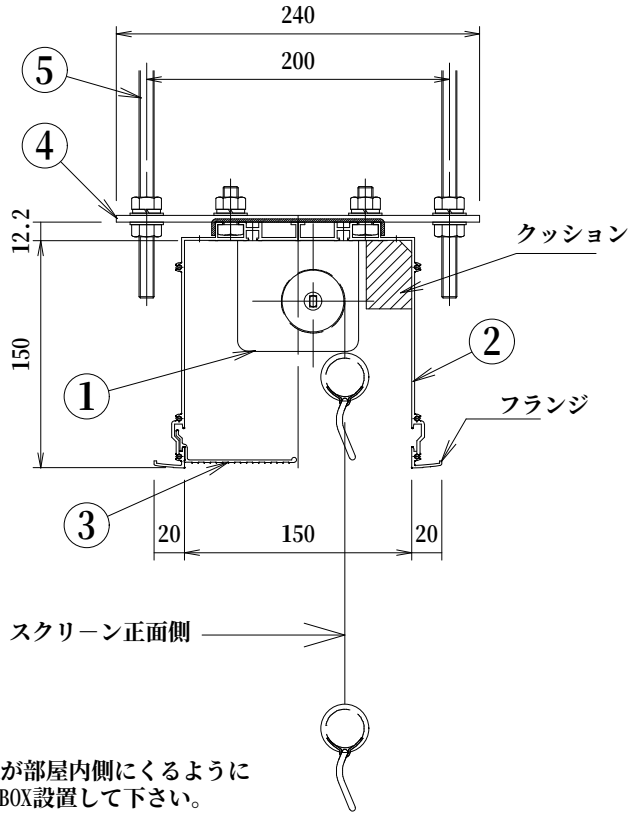
⚠ 注意	⃠	・スクリーンにぶらさがったり掲示物を掛けたりしないで下さい。
	⃠	・スクリーンを昇降させる時は、周囲に人や障害物が無いことを確認してから操作して下さい。
	⃠	・スクリーン生地の下端部にパイプが付いていますので、ぶつからないようにご注意下さい。
	❗	・スクリーンを引き下げるときは、付属のフック棒をご使用下さい。

YA20120222

《部品明細表》

No.	部品名	数量
1	スクリーン本体	1
2	スクリ-ンBOX	1
3	目隠し板	1
4	吊金具	3
5	吊ボルト(寸切りボルトW3/8×1000　平ワッシャ2,Sワッシャ1,ナット2)	6



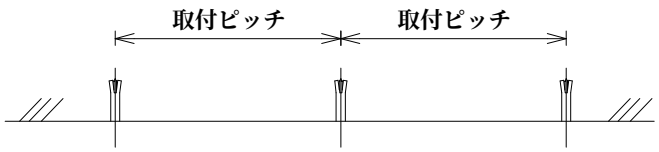


注）③目隠し板が部屋内側にくるように
スクリーンBOX設置して下さい。

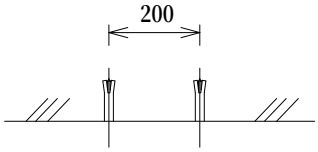
取付手順

注）必ず天井施工前にスクリーン取付工事して下さい。

1. W3/8アンカー（別途）×6箇所　スラブに打ち込んで下さい。



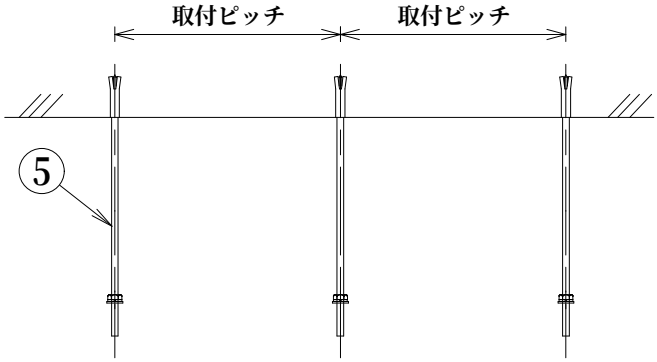
（正面）



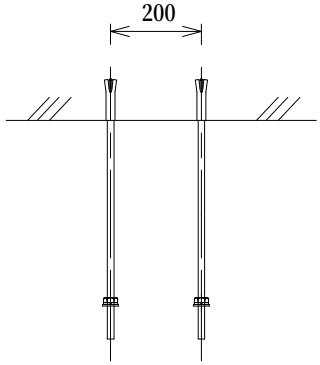
（側面）

取付ピッチ=(ボックス長さ-500)÷(吊点数-1)

2. 吊ボルト（W3/8×1000　付属品）をアンカーへ固定して下さい。

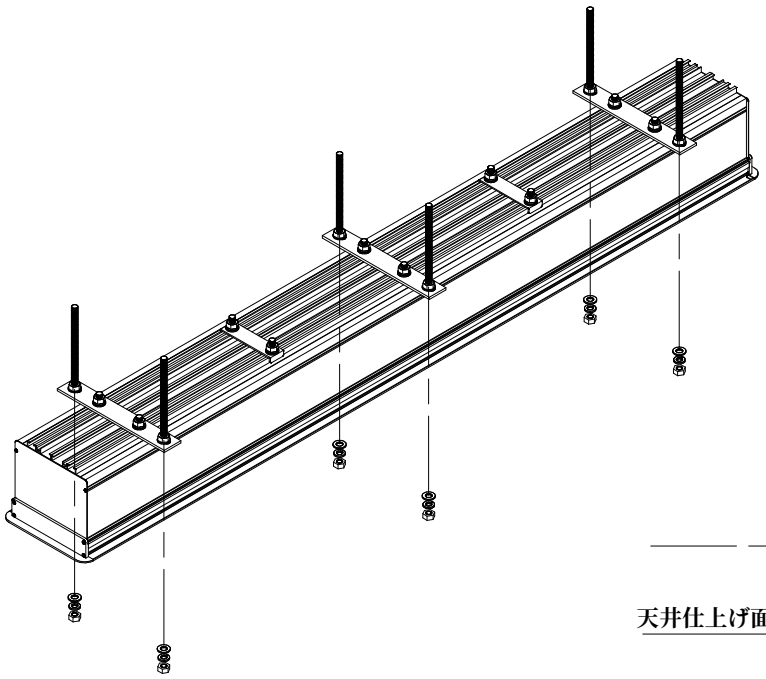


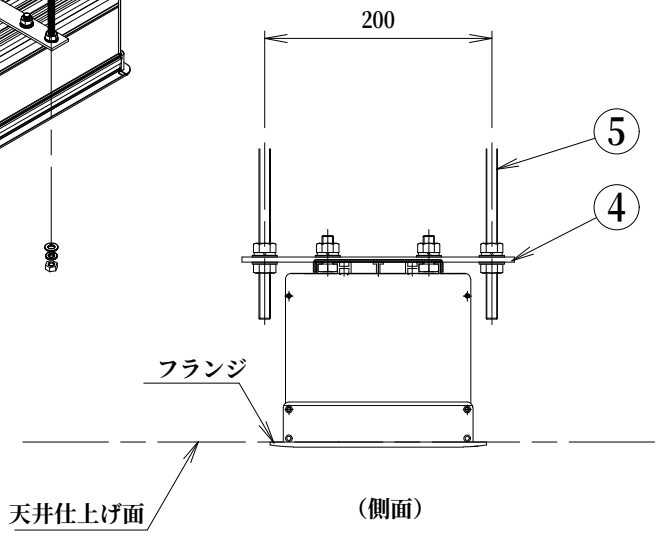
（正面）



（側面）

3. 天井仕上げ面にレベルを合わせスクリーンBOXを吊ボルトへ固定して下さい。





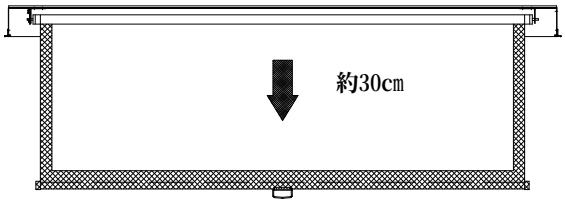
（側面）

スクリーンの昇降速度の調整方法

本商品は適正速度(スピードコントローラー付き)で調整されていますが,お好みの速さで調整される時は,ブラケットからスクリーン本体を取り外し,以下の要領で行って下さい。

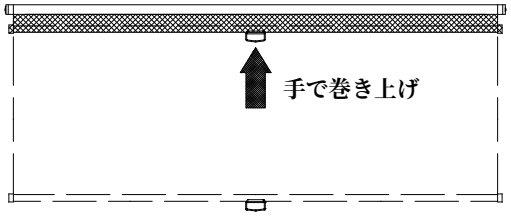
昇降速度を速める時

❶ スクリーンを30㎝位引き下げ,スクリーンを止めて下さい。
(スクリーンが昇降しないのを確認して下さい)

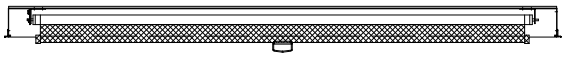


❷ 下記の要領でスクリーン本体を外して下さい。

❸ スクリーンを手で巻き上げます。



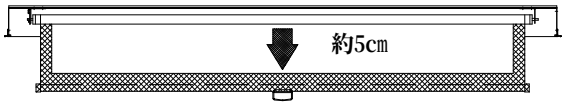
❹ 下記の要領でスクリーン本体を戻してください。



※適度な速さになるように繰り返し調整して下さい。

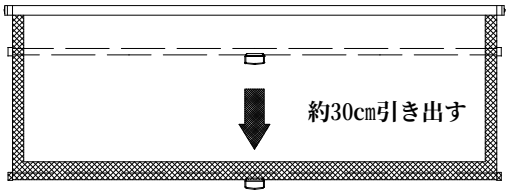
昇降速度を遅らせる時

❶ スクリーンを5㎝位引き下げ,スクリーンを止めて下さい。
(スクリーンが昇降しないのを確認して下さい)

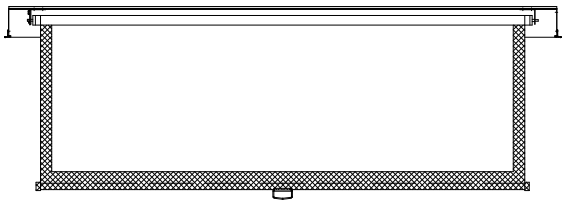


❷ 下記の要領でスクリーン本体を外して下さい。

❸ スクリーンを手で約30㎝位引き出します。



❹ 下記の要領でスクリーン本体を戻してください。



※適度な速さになるように繰り返し調整して下さい。

スクリーンの外し方

※必ずスクリーンが昇降しないのを確認してから行って下さい。

φ42ローラーの場合

バネ用ブラケットの六角ボルトを緩めて取り,ストッパー固定円盤プレートを引張りながら,ローラーをスライドさせて外します。

φ68ローラーの場合

バネ用ブラケットのズレ止めプレートの六角ボルトを緩めて取り,ローラーを少し持ち上げ,フック金具から外しブラケットから取ります。

スクリーンの戻し方

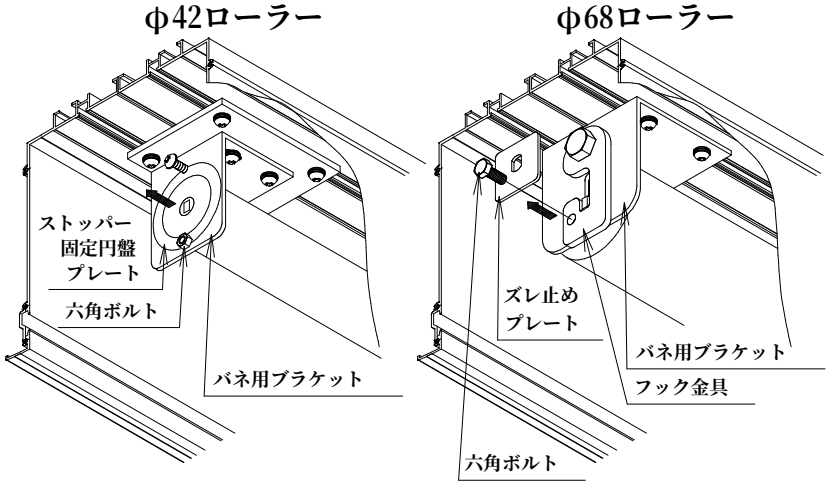
外し方の逆の方法で取付けて下さい。

φ42ローラーの場合

ストッパー固定円盤プレートにローラー軸がしっかり収まっている事を確認の上,六角ボルトをきちんと締めて固定して下さい。

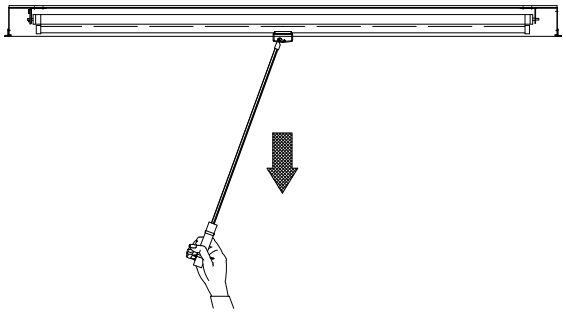
φ68ローラーの場合

フック金具にローラー軸がしっかり収まっている事を確認の上,六角ボルトをきちんと締めて固定して下さい。

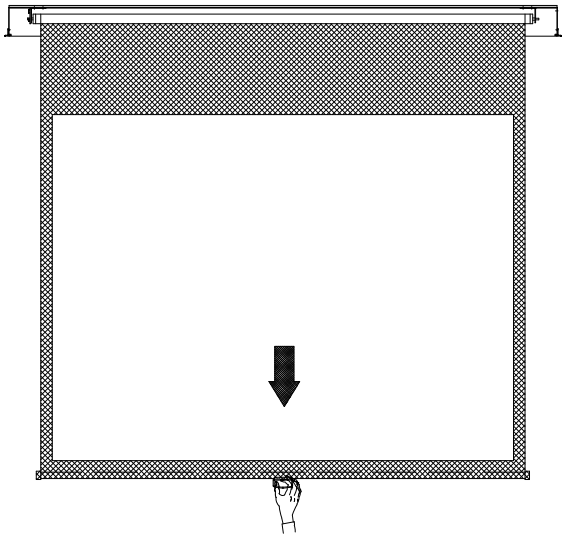


取扱い上のご注意

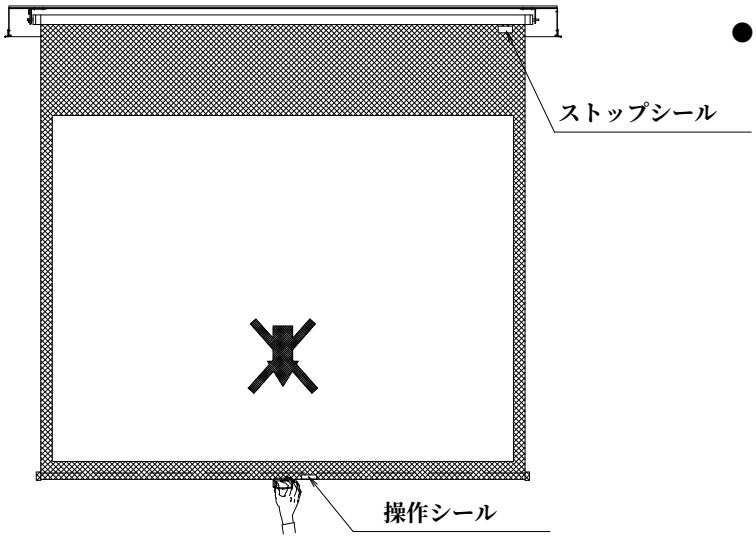
1 スクリーンを引き下げる時は,付属のフック棒を使用して下さい。



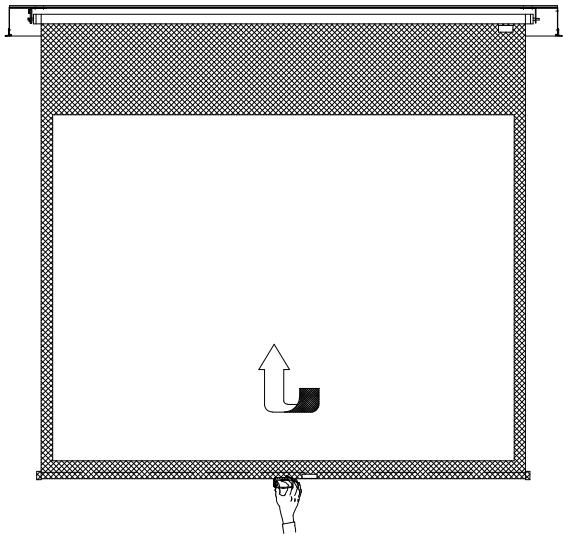
2 吊下げ金具を持ってスクリーン面を希望の位置まで軽く引き上げて下さい。
スクリーンは任意の位置で止まります。



3 スクリーンの引き下げ限度を超して無理に引き下げないで下さい。(ストップシールの所が限界です。)
限度を超して無理に引っ張りますと,スクリーン生地が芯のアルミローラーよりはがれて落下することがあります。



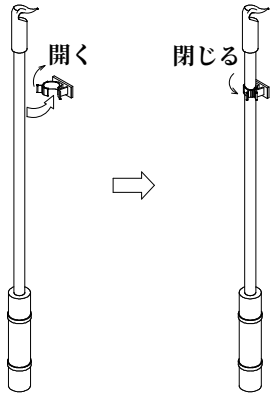
4 収納するときは,スクリーン下部の吊下げ金具を持ってほんの少し下に引いて手を離して下さい。
スクリーンはゆっくり収納されます。
※注意　収納時に引きすぎるとその位置でロックがかかり,止まりますので少しだけ軽く引いて下さい。



5 分解,解体はしないで下さい。アルミローラーに巻上のためのスプリングが入っており,金具等が飛び出しけがをする危険があります。

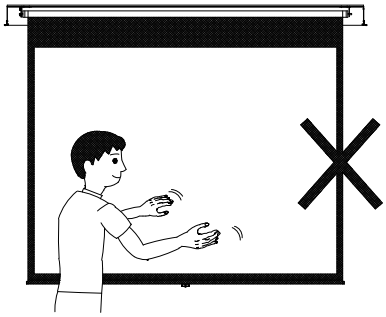
6 スクリーン生地の下端部のパイプに,ぶつからないようにご注意下さい。
また掲示物等,他のものを吊下げたりしないで下さい。

●フック棒はフック棒クリップにて簡単に保持できます。

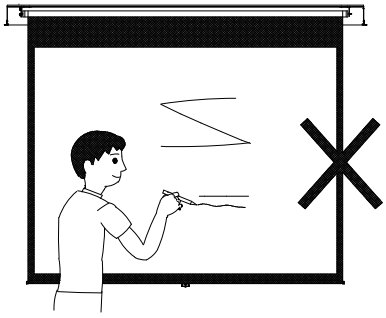


スクリーン生地についてのご注意

1 スクリーン面に直接手を触れないで下さい。

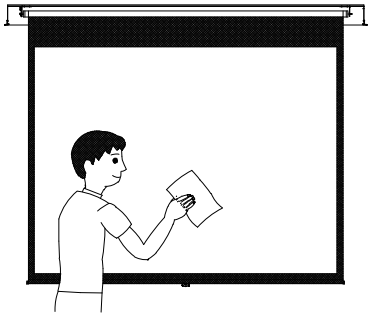


2 スクリーン面に鉛筆やマジック等で字を書かないで下さい。もし誤って書かれても消すことはできません。

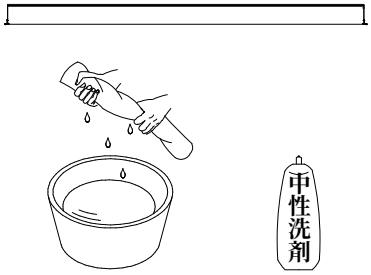


3 スクリーン面をベンジンやシンナー類で絶対に拭かないで下さい。又,水拭きもできませんのでご注意下さい。

4 スクリーン面についたほこりをとるときは,柔らかい乾いた布又は柔らかいブラシで払い取って下さい。



5 スクリーンボックスの汚れは,柔らかい布で拭き取って下さい。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤液で軽く拭き取って下さい。



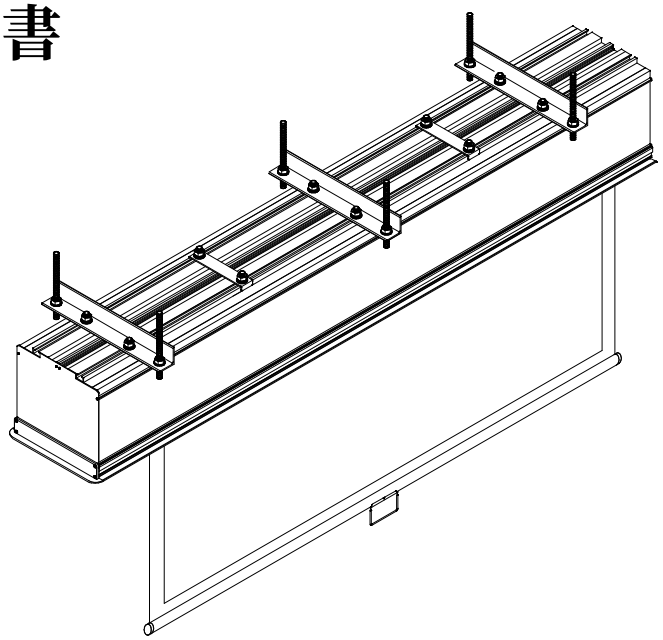
6 直射日光の当たる場所には置かないで下さい。

この商品について万一故障,又は不具合がありましたら,お買い上げの販売店又は弊社までご連絡下さい。

YA20120222

スプリング巻上式スクリーン(スクリーン205角BOXセット)
取扱説明書

ロータリーストップ&
スピードコントローラ付き



このたびは当社スクリーンをお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に,本機の機能を十分生かしてご利用いただくために,この「取扱説明書」を最後まで読み下さい。お読みになった後は,いつでも見られる所に大切に保存して下さい。万一,ご使用中にご不明な点や不具合が生じた時きっとお役にたちます。

ご使用の前に

絵表示について

この「取扱説明書」では,製品を安全に正しくお使いいただき,お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために,いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容ををよく理解してから本文をお読み下さい。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると,人が死亡やけがをするなど人身事故の原因となります。
⚠ 注意	この表示を無視して,誤った取り扱いをすると,人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

⚠記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号はしてはいけないことを表しています。
図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

❗記号はしなければならないことを表しています。
図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

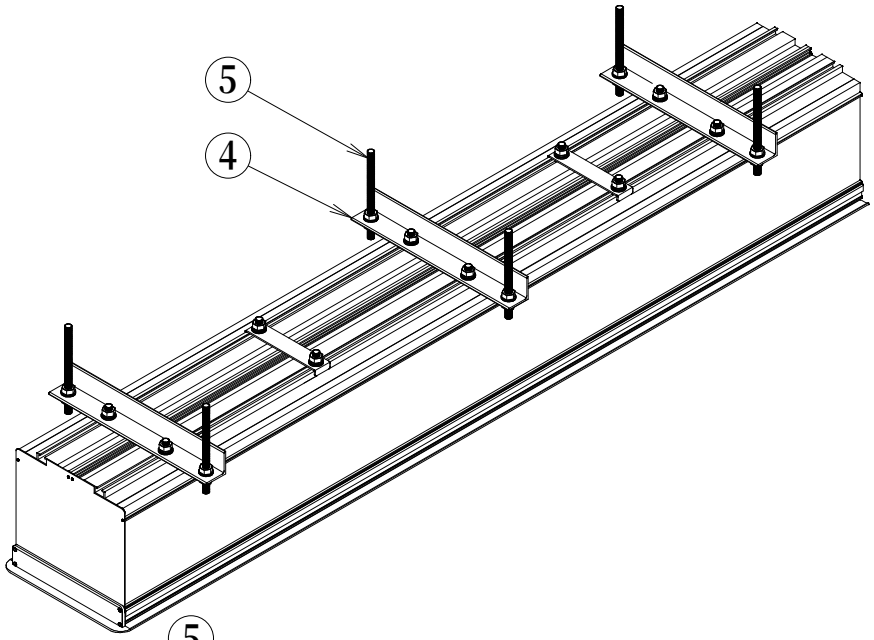
⚠ 警告	⃠	・ストーブなど火器近くでは使用しないで下さい。 火災の原因になります。

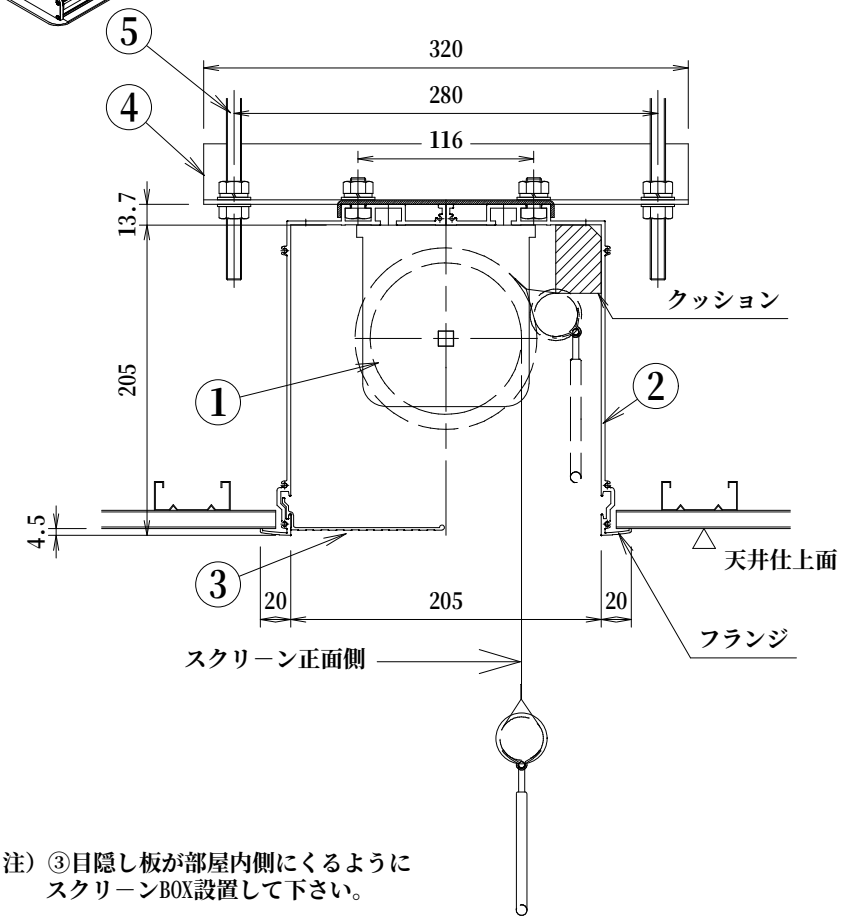
⚠ 注意	⃠	・スクリーンにぶらさがったり掲示物を掛けたりしないで下さい。
	⃠	・スクリーンを昇降させる時は、周囲に人や障害物が無いことを確認してから操作して下さい。
	⃠	・スクリーン生地の下端部にパイプが付いていますので、ぶつからないようにご注意下さい。
	❗	・スクリーンを引き下げるときは、付属のフック棒をご使用下さい。

YA20120222

《部品明細表》

No.	部品名	数量
1	スクリーン本体	1
2	スクリ-ンBOX	1
3	目隠し板	1
4	吊金具(L40×40×3×320)	3
5	吊ボルト(寸切りボルトW3/8×1000　平ワッシャ2,Sワッシャ1,ナット2)	6



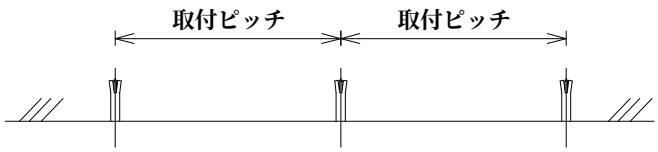


注）③目隠し板が部屋内側にくるように
スクリーンBOX設置して下さい。

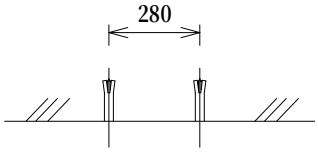
取付手順

注）必ず天井施工前にスクリーン取付工事して下さい。

1. W3/8アンカー（別途）×6箇所　スラブに打ち込んで下さい。



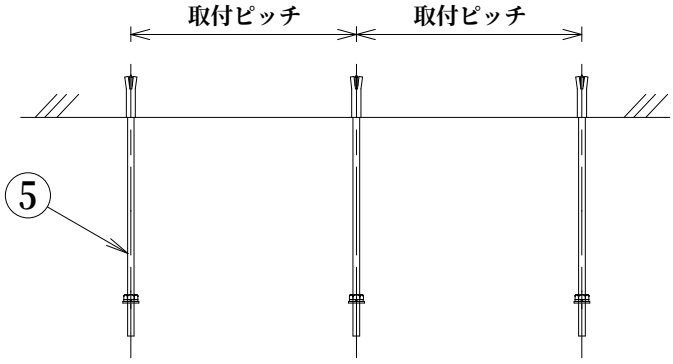
（正面）



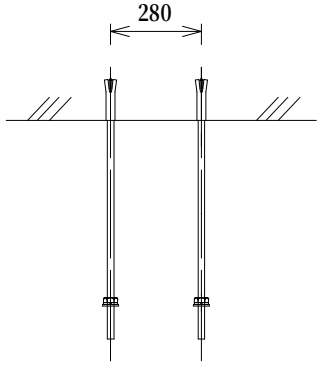
（側面）

取付ピッチ=(ボックス長さ-500)÷(吊点数-1)

2. 吊ボルト（W3/8×1000　付属品）をアンカーへ固定して下さい。

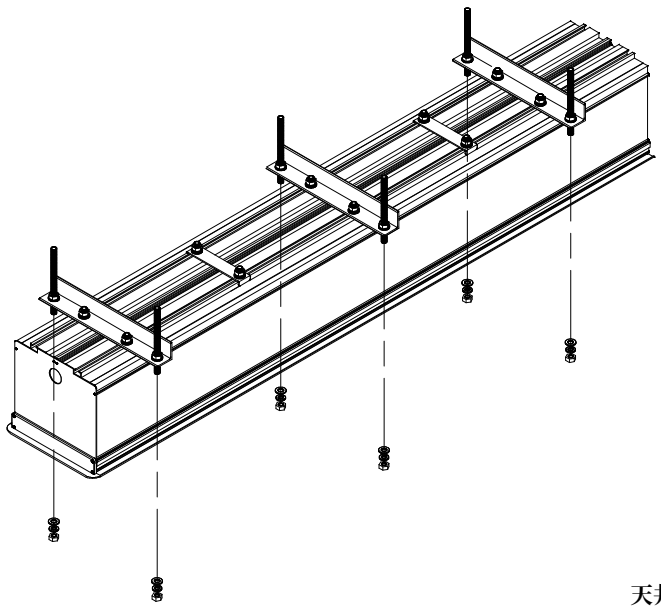


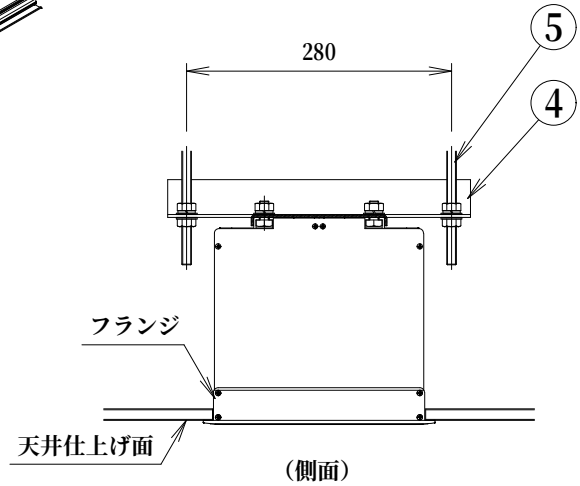
（正面）



（側面）

3. 天井仕上げ面にレベルを合わせスクリーンBOXを吊ボルトへ固定して下さい。





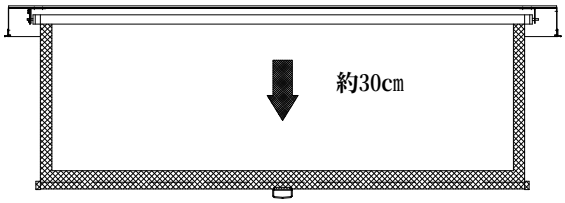
（側面）

スクリーンの昇降速度の調整方法

本商品は適正速度(スピードコントローラー付き)で調整されていますが,お好みの速さで調整される時は,ブラケットからスクリーン本体を取り外し,以下の要領で行って下さい。

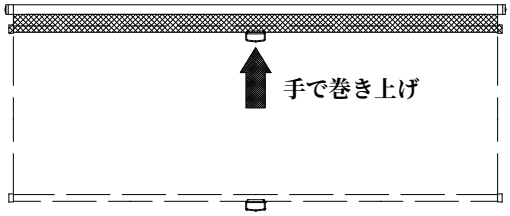
昇降速度を速める時

❶ スクリーンを30㎝位引き下げ,スクリーンを止めて下さい。
(スクリーンが昇降しないのを確認して下さい)

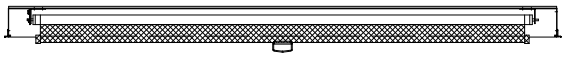


❷ 下記の要領でスクリーン本体を外して下さい。

❸ スクリーンを手で巻き上げます。



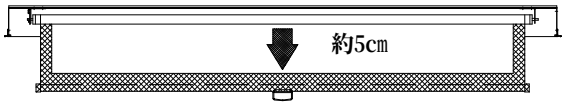
❹ 下記の要領でスクリーン本体を戻してください。



※適度な速さになるように繰り返し調整して下さい。

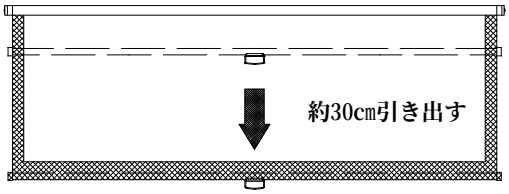
昇降速度を遅らせる時

❶ スクリーンを5㎝位引き下げ,スクリーンを止めて下さい。
(スクリーンが昇降しないのを確認して下さい)

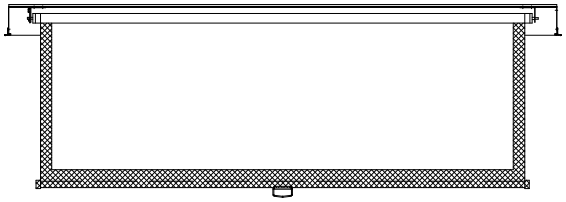


❷ 下記の要領でスクリーン本体を外して下さい。

❸ スクリーンを手で約30㎝位引き出します。



❹ 下記の要領でスクリーン本体を戻してください。



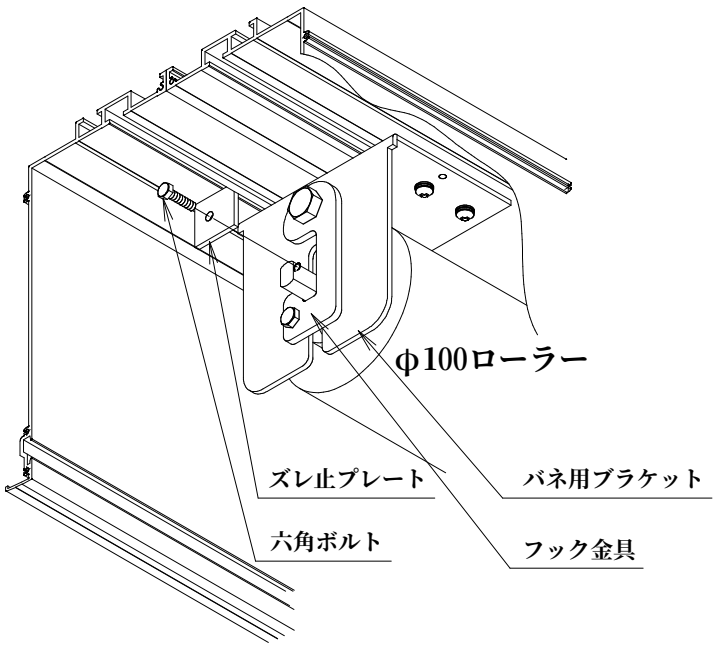
※適度な速さになるように繰り返し調整して下さい。

スクリーンの外し方

※必ずスクリーンが昇降しないのを確認してから行って下さい。

φ100ローラーの場合

バネ用ブラケットのズレ止めプレートの六角ボルトを緩めて取り,ローラーを少し持ち上げ,フック金具から外しブラケットから取ります。



スクリーンの戻し方

外し方の逆の方法で取付けて下さい。

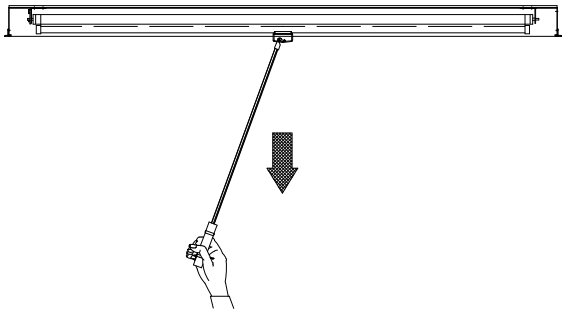
φ100ローラーの場合

フック金具にローラー軸がしっかり収まっている事を確認の上,六角ボルトをきちんと締めて固定して下さい。

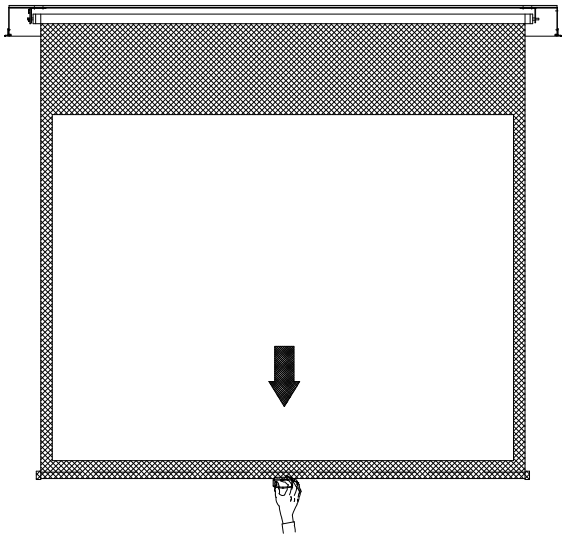
YA20120222

取扱い上のご注意

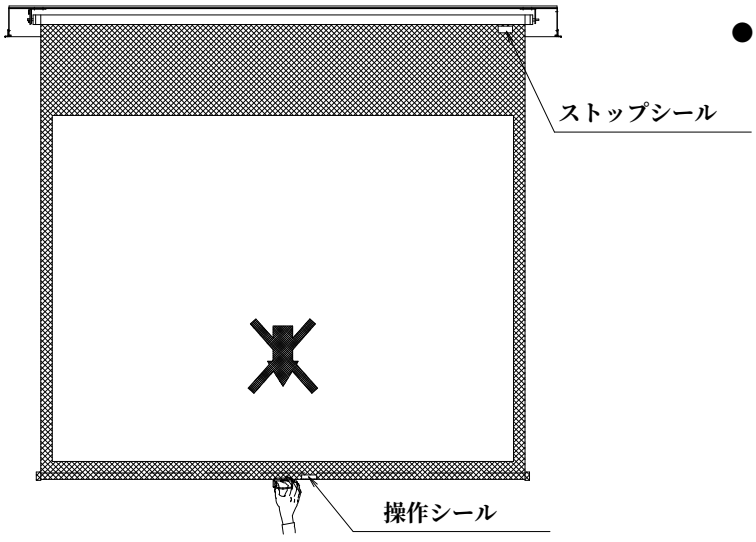
1 スクリーンを引き下げる時は,付属のフック棒を使用して下さい。



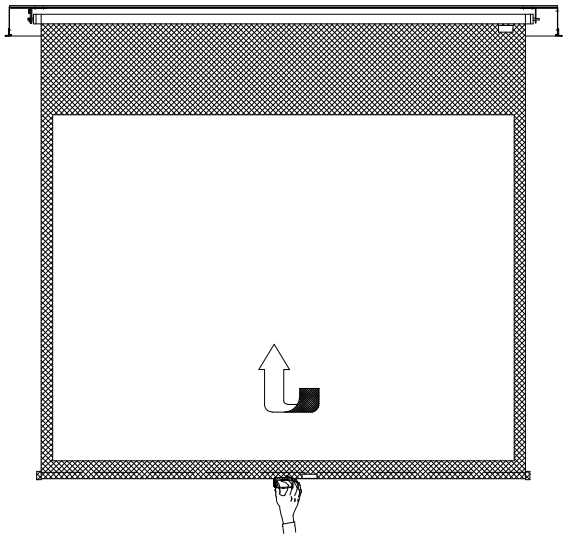
2 吊下げ金具を持ってスクリーン面を希望の位置まで軽く引き上げて下さい。
スクリーンは任意の位置で止まります。



3 スクリーンの引き下げ限度を超して無理に引き下げないで下さい。(ストップシールの所が限界です。)
限度を超して無理に引っ張りますと,スクリーン生地が芯のアルミローラーよりはがれて落下することがあります。



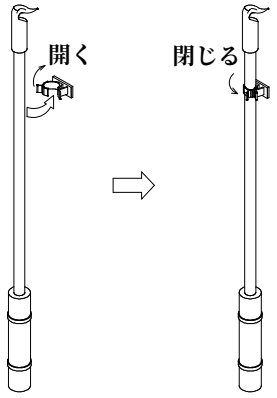
4 収納するときは,スクリーン下部の吊下げ金具を持ってほんの少し下に引いて手を離して下さい。
スクリーンはゆっくり収納されます。
※注意　収納時に引きすぎるとその位置でロックがかかり,止まりますので少しだけ軽く引いて下さい。



5 分解,解体はしないで下さい。アルミローラーに巻上のためのスプリングが入っており,金具等が飛び出しけがをする危険があります。

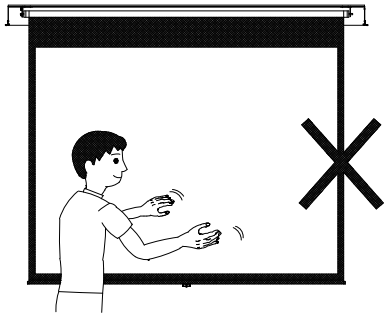
6 スクリーン生地の下端部のパイプに,ぶつからないようにご注意下さい。
また掲示物等,他のものを吊下げたりしないで下さい。

●フック棒はフック棒クリップにて簡単に保持できます。

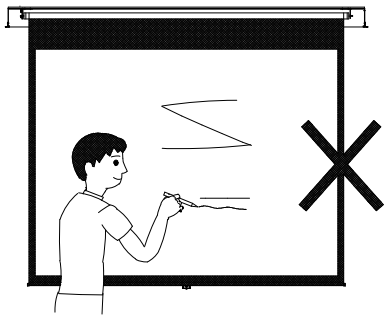


スクリーン生地についてのご注意

1 スクリーン面に直接手を触れないで下さい。

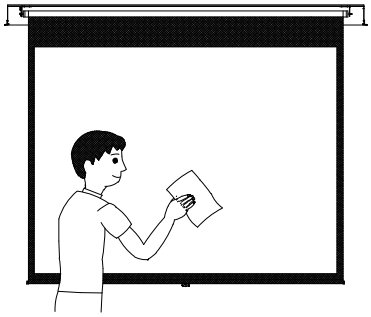


2 スクリーン面に鉛筆やマジック等で字を書かないで下さい。もし誤って書かれても消すことはできません。

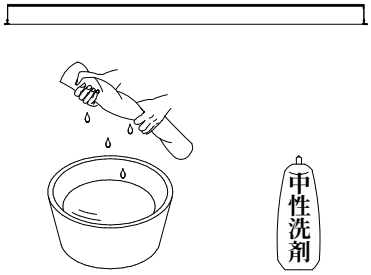


3 スクリーン面をベンジンやシンナー類で絶対に拭かないで下さい。又,水拭きもできませんのでご注意下さい。

4 スクリーン面についたほこりをとるときは,柔らかい乾いた布又は柔らかいブラシで払い取って下さい。



5 スクリーンボックスの汚れは,柔らかい布で拭き取って下さい。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤液で軽く拭き取って下さい。



6 直射日光の当たる場所には置かないで下さい。

この商品について万一故障,又は不具合がありましたら,お買い上げの販売店又は弊社までご連絡下さい。

YA20120222